



五中だより

令和 8 年 10 月 1 日
小平市立小平第五中学校
校長 相澤 史彦
小平市小川町 1 - 7 9 8

安心・安全な環境

校長 相澤 史彦

一雨ごとに涼しが増し、秋の気配を感じる季節となりました。10月を迎え、気が付くと今年度も折り返しを過ぎています。今月下旬には合唱コンクールの開催を予定しており、9月中旬からは昼休みになると、教室から自主練習に励む歌声が廊下に響いてくるようになりました。各学級が心を合わせて合唱する姿を期待しています。

さて、9月12日（土）から2泊3日の日程で、3年生は京都・奈良方面へ修学旅行に行ってきました。生徒の安心・安全を第一に、最近頻発している地震や台風、大雨等を懸念して対策を講じていましたが、幸い当日は災害が発生することなく、天候にも恵まれた3日間となりました。生徒たちは協力し合いながら班別行動やクラス行動を行い、日本の文化や歴史に実際に触れ、見聞を深めていました。また、日中の活動だけでなく、宿泊を共にすることで、仲間との絆もより一層強くなったことでしょう。

しかし、すべてが順調だったわけではありません。今回はインフルエンザの流行時期と重なり、旅行中に体調を崩す生徒が複数出ました。引率した職員は、現地での病院受診に付き添ったり、保護者に現地まで引き取りに来ていただいたり、宿舍の保健室の体制を整えたりしながら対応にあたりました。2日目の夜も複数の発熱者がいる状況であったため、最終日の保護者による引き取り等の対応について、職員全員で確認しました。そして迎えた最終日の朝、健康チェックで平熱に戻ったという報告が相次いだときには、ほっと胸をなで下ろすとともに、生徒一人一人がしっかりと休み、健康管理に努めたことが伝わってきました。結果として、ほぼすべての生徒が班別行動に参加することができ、閉校式では3年生に「よく頑張りました」と話しました。

今回の事例以外にも、教育活動の中で生徒の安心・安全に関わる事案はいくつも存在します。大地震や火災などの災害については、定期的に訓練や講話を行い、落ち着いて速やかに避難できるよう指導しています。生徒たちは、こうした訓練に毎回真剣に参加しています。台風や大雨などについては、状況を見極め、ガイドラインなどに沿って判断し、必要な情報をできるだけ早く周知しています。一方、いつ、どこで発生するか分からない災害については、生徒一人一人が自分で考え、対処できるようになることが大切だと考えています。ご家庭でも「いざというとき」について、日頃から話し合う機会をもっていただければと思います。

今回の修学旅行を通して、予期せぬ事態に備えること、そして発生した際に職員が連携して対応することの大切さを改めて実感しました。これからも、生徒が安心して安全に学校生活を送ることができるよう、学校として準備を万全にするとともに、生徒自身の安全への意識も高めていきます。

お知らせ・ご紹介

○修学旅行（3 学年・8 組）

9 月 1 2 日から 1 4 日に 3 学年と 8 組が奈良・京都へ修学旅行に行きました。行先は京都と奈良。2 日目と 3 日目のスケジュールは班ごとに計画して班行動を行いました。写真でようすをお伝えします。



行きの新幹線



東大寺大仏殿の柱くぐり



薬師寺



京都駅で解散式

○生徒会役員選挙



9 月 8 日に生徒会役員選挙が行われました。各候補者の演説、応援演説ともによく考えられていて伝わる話がありました。選挙権を得る年齢が 1 8 歳以上となり、選挙が身近になりました。この役員選挙も「投票」によって思いを託すことを学ぶ機会です。演説の時間、じっと話を聞く生徒の様子が印象的でした。新しい生徒会もこれまでの活動を受け継ぎ、頑張ってもらいたいです。

○がん教育（2 学年）



9 月 14 日に 2 学年で「がん教育」の授業を実施しました。西東京市にある佐々総合病院の鈴木名誉院長が講師としてお越しになり、がんとは何か、どう予防するか、治療はどうなっているか、などについて分かりやすく説明してくださいました。

普段からがん向き合っている病院の先生からのお話とあって、生徒は様々なことを考えながら聞いていました。

○災害用伝言板（web171）

災害用伝言板（web171）は、大きな災害で電話が混み合ったときに、インターネット上で安否等の情報をテキストで登録・確認できる伝言板です。3 学年の修学旅行では、緊急時の対応策として災害用伝言板の使い方を指導しました。ご家庭でも災害への備えとして確認してみるとよいです。

○臨時的任用教員の退職と任用について

学校生活や行事などのようすについては、学校 HP にてお伝えしています。その他にも資料等学校生活に必要な情報を掲載しています。是非ご覧ください。

【 <https://www.kodaira.ed.jp/35kodaira/> 】

